



### 大量のCD&レコードは専用棚で省スペース化

大量のレコードやCD用の壁面棚を造作。奥にレコード、手前奥行き浅いCDを収納する二重構造。空間を無駄なく利用しつつ、扉を開ければ収納の存在も隠せる

### カラフルなおもちゃは引き出しで印象すっきり

LDKにあるソファの背面に造作のリビングボードを置き、中に引き出し式のおもちゃ専用収納を用意。カラフルなおもちゃを1カ所にまとめて隠せるように。出し入れはトレーを引くだけなので、子ども自身が強いやすいのもポイント

子どもが自分でお片付けしやすくなる!



### 扉でオーディオを隠しシンプルな空間に

リビング収納の中央部には施主の趣味であるオーディオが。使うときだけ扉を開ける仕組みで、下部の扉内にはCDも収納されている。オーディオの左右には、表に出したくない空調機器も収納。メッシュの扉を選ぶことで、内部を隠しつつも重く見えないほか、機器の熱をこもらせない効果も



基礎編 応用編

## 「隠す」

日用品や雑貨を戸棚などに入れてしまう「隠す」収納は、雑多な物が隠れてすっきりした空間に仕上がるのが特徴。生活感も出にくくなるので、洗練されたモダンな暮らしを願う人に向いている。

### 物の居場所を決めることが隠す収納の成功ポイント

隠す収納づくりを成功させるポイントには「理想の暮らしを思い描く想像力」と矢板夫妻。「どんな生活をしたかイメージをつかんでいなくても、いくら戸棚や引き出しをつくっても、実際に暮らしてみると生活の動線となじみません。結果、使いこなせず、あちこちに物がはみだす結果に。隠す収納とは本来、物の居場所を決めることが原点。持ち物の量と、それを扱う場所にフィットした収納がもたらすなら、どんなに持ち物が多い人でも片付けが楽になる。結果、広々とした空間を確保でき、すっきりと暮らせるようになる。

ります(久明さん)つまり設計の段階から、どういう場所でのように過ごしたいか、そこに何を収納できれば使いやすいか、生活の姿をイメージしてみるのが重要。

「新居に入れたい持ち物と物量も設計担当者に伝えておくと、プランにバランスよく反映することが出来ます。忘れがちなのが、収納したい物の高さや奥行きを測ること。サイズがぴったりと合った収納は、限られた空間を無駄なく利用できます。また、扉の素材選びもポイントで、壁と同色にして収納の存在を隠したり、木質を取り入れて温もりを加えたり、表情変化に役立ちますよ。」(直子さん)



### 靴箱と傘立てを一体化し、玄関を広々と

天井まである靴箱は、夫と妻、それぞれの靴のサイズや丈に合わせて場所を左右に振り分けた。玄関スペースに傘立てを置くと狭くなるほか、雑多に見えやすいため、靴箱の内部に防水パンを備えた引き出し式の傘入れを設置。広々としたエントランスに



手前側に引き出せば傘がたっぷり収納できる!



お話を聞いた人  
 矢板建築設計研究所  
 矢板久明さん 直子さん  
 ともに一級建築士。「住み、働く人が生き生きと使える建物」をテーマに、使いやすい収納を組み込んださまざまな建築を手掛ける